

1 現状・課題

・令和2年に比較して農業生産資材コストは1.2倍、最低賃金が1.3倍と高騰し、農業経営を圧迫している状況であり、経営コストの上昇に対応した持続的な農業生産への転換を促進する必要がある。

2 事業の目的

・農業資材価格の高止まりが続く中、以下の取り組みを支援することで、経営コスト上昇に対応した持続的な農業生産への転換を促進する。

- ①生産性向上対策（生産性向上に資する機器等の導入により、コスト削減を図る）
- ②省力化対策（省力化に資する機器等の導入により、労働費の削減を図る）
- ③リノベーション対策（施設等のリノベーション等により、設備投資の効率化を図る）

要望額が予算額を上回った場合は、要望時のポイント上位から採択します。

3 事業内容

<事業対象者（取組主体）>

産地計画または水田農業産地計画を構成する農業者。または、その農業者が組織する団体農業協同組合（いちご株冷用体制整備にかかる取組のみ対象）

<補助率>

機器等の導入に要した経費（消費税及び地方消費税を除く）の1/2以内

<補助上限額>

1取組主体あたり500万円

<対象機器等> 税抜きで50万円以上の機器等を対象

（ただし、いちご株冷用体制整備（コンテナ）および農業用油流出防止対策は除く）

①生産性向上対策

- ・統合（複合）環境制御装置
- ・炭酸ガス発生装置（局所含む）
- ・日射比例かん水装置【花き、野菜】
- ・養液システム【野菜】
- ・自動換気装置
- ・ヒートポンプ【花き、野菜】
- ・細霧冷房装置【花き】
- ・パッドアンドファン【花き】
- ・レーザーレベラー【農産】※1

②省力化対策

- ・高密度播種用田植機
- ・乾田直播用ローラー※2
- ・水田水管理システム
- ・ショートディスク（ディスクティラー）【農産】※3
- ・直進アシストシステム（※1～3とあわせて導入する場合に限る）
- ・光防除（UV-B）【花き】
- ・収穫機【野菜】
- ・移植機【葉たばこ、野菜】
- ・農業用ドローン【農産、果樹、野菜】
- ・ブームスプレーヤー【野菜】
- ・複数同時作業機【野菜】
- ・いちごフィルム張り機
- ・自動灌水装置【花き、野菜】
- ・自走式防除機【花き】
- ・家庭用選果機一式（AI選果機を含む）【果樹】
- ・ラジコン草刈り機【畦畔用、果樹】
- ・ウッドチッパー【果樹】
- ・スピードスプレーヤー【果樹】
- ・乗用草刈り機【果樹】

③リノベーション対策

- ・いちご株冷用体制整備（改修）
- ・いちご株冷用体制整備（コンテナ）
- ・いちご高設栽培移設
- ・いちご高設栽培リノベーション
- ・ハウス移転
- ・ハウスリノベーション
- ・重油漏れ対策（油濁賠償責任保険への加入等を要件とする）
- ・茶製造ライン
- ・茶防霜ファン